



第一礼拝次第

メッセージ：郭永東牧師

前奏			
頌栄	540	会衆	
主の祈り		会衆	
プレイズ	「主の足元に」	会衆	
	「たたえよ栄光の神」	会衆	
聖書朗読	ヨハネ3:16~21	司会	
祈禱	(新約聖書p167)	司会	
賛美	第二讚美歌191	会衆	
メッセージ	「真理を行う者」	牧師	
祈禱		牧師	
賛美	270	会衆	
献金		司会	
報告		司会	
頌栄	新生672b	会衆	
祝禱		牧師	

♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

第二礼拝次第

メッセージ：渡真利彦文牧師

司会：郭永東牧師

聖書：マタイ5:3~10(新約聖書p6)

メッセージ：「幸いな人」

プレイズ：「心に感謝を持ちながら」

「主イエス様はぶどうの木」

賛美：新生570 新生300

♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

ファミリー礼拝

メッセージ：渡真利千佳子姉

聖書：ルカ19:28~40

メッセージ：「主がお入り用なのです」

<巻頭言>

やり直せる恵み

郭永東 牧師

イエス様が実を結ばないいちじくの木のとえを語られた内容です。ある人のぶどう園にいちじくの木が一本ありました。しかし、3年経っても実を結びませんでした。その時、主人は園丁に言いました。「もう三年もの間、このいちじくの木に実を探しに来ているのに、見つけたためしがない。だから切り倒せ。なぜ、土地をふさがせておくのか。」(ルカ13:7) そうすると、園丁はいちじくの木を生かすために嘆願します。「御主人様、今年もこのままにしておいてください。木の周りを掘って、肥やしをやってみます。そうすれば、来年は実がなるかもしれません。もしそれでもだめなら、切り倒してください。」(ルカ13:8~9) 園丁はやり直せる恵みを求めたのです。

人間の目では園丁の答えは無責任に感じるかもしれませんが、3年間変わらなかったのに、どうしてまたチャンスを探めているのかと。しかし、園丁の思いは、「最後まで」、「もう一度」という諦めない心を持っていることがわかります。この園丁はイエス様です。イエス様は実を結ばない「私たち」のような木であっても、もう一年諦めないで実を結ぶことを望んでおられるのです。チャンスはいつもあるわけではなく、時間はいつも待っているわけではありません。愛する皆さん、神様の恵みの時が与えられた今こそ、神様に立ち返る時です。2023年やり直せる神様の恵みのために祈ります。

「もしわたしの名をもって呼ばれているわたしの民が、ひざまずいて祈り、わたしの顔を求め、悪の道を捨てて立ち帰るなら、わたしは天から耳を傾け、罪を赦し、彼らの大地をいやす。」

歴代誌下7:14